

# ダナン市における投資発展の可能性について

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Kieu Thao Vi)

## I. はじめに

政治の中心地である首都ハノイ、経済の中心地であるホーチミンという競争力の高い 2 都市に次ぎ、ダナンはベトナム第三の有望投資先である。ベトナムの中心部に位置するダナン市は、南部と北部の接続点、ベトナムからラオス、タイを横断しミャンマーへと繋がる物流動脈とされる東西経済回廊があり、更には太平洋とも面しており国内の重要な物流拠点となっている。このような優位性からも、近年、ダナンは国内外の起業家にとって魅力的な投資先候補地として注目を集めている。

そこで本稿では、ダナン市が展開する外資誘致策や、現在の投資状況および外国人投資家が直面している課題について説明したい。



## II. 概要

### 1. ダナンの外資誘致策

#### 1.1 戦略的なロケーション

ダナンはベトナムの中心に位置し、陸路・海路・空路の各交通網における要所である。東西経済回廊の始点、ベトナム中部や中部一帯の輸送玄関口の役割を持ち、周囲の経済特区をつなぐ重要都市でもある。その地理的優位性は、この地で活動する企業に、貿易や取引に関する多くの機会をもたらしているだけでなく、資源やサービス・技術・労働市場にアクセスしやすい環境を生み出している。

#### 1.2 安定的な人口推移、人的資源の供給

ダナン市の人口はここ数年にわたり平均 2.54%の増加を続けており、2019 年には 100 万人を突破した。1 人当たりの平均年収は 2019 年時点で 4,095 米ドルに達した。ハノイ市 (5,000 米ドル超) やホーチミン市 (6,000 米ドル超) には及ばないながらも、ベトナム国内では高水準である。また、ダナンには、25 の大学・高等専門学校や、14 か所の日本語センターがあり、毎年合計約 4 万人の卒業生がいることから、若く才能豊かな人材を安定的に確保することができる。

### 1.3 先進的なインフラと工業団地の優位性

情報通信省およびベトナム情報処理協会（VAIP）が、毎年発表する情報通信技術の発展と利用実態に関する省・市別ランキングで（Vietnam ICT Index）、ダナン市は2019年まで11年連続で全国1位を獲得し続けている。これほどに、ダナンのITインフラは包括的な発展を遂げている。交通や流通インフラの状況を見ると、ダナン港は、ベトナム中部およびASEAN地域全体のサプライチェーンサービスの発展に寄与し、またダナン国際空港には、東京・大阪・名古屋との直行便を含む国際線35路線が就航しており、2019年には約980万人の観光客を迎えている。

さらに、ASEAN地域内の他の大都市との比較において、ダナンの特筆すべき利点は、市内中心部や国際空港・港湾の近くに位置する工業団地の存在である。ダナンの工業団地の特徴は以下の通りである。

- ・稼働中の6か所の工業団地は、807.15haもの広大な建設土地があり、これまでに日系企業を含む約125件の外資プロジェクトを誘致してきた。
- ・ダナン市によって設立されたハイテクパークの入居企業は、年間の土地リース料を地価の1%に引き下げるといった優遇を享受でき、また法人税については、課税所得が発生した年から4年間の免税、その後9年間は10%の課税となる。（通常法人税は20%）
- ・大規模なIT工業団地やソフトウェアパーク（341ha）に入居する企業は、課税所得が発生した年から4年間の法人税免除、その後9年間は5%の課税となる。

### 1.4 政府によるその他の投資奨励政策

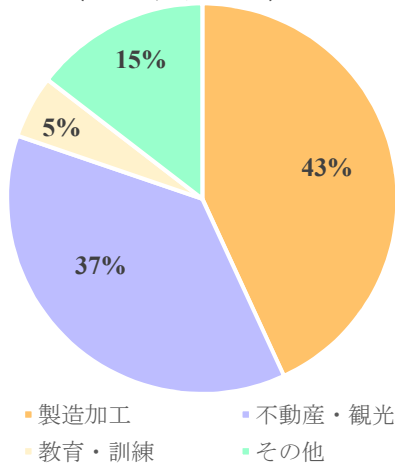
外国企業による投資プロジェクトを支援するため、ダナン市は投資促進支援委員会およびその付属機関として、2015年にジャパンデスクを設置した。ジャパンデスクの主な業務内容は、工業団地の紹介や投資関連手続きの日本語での案内、その他地元企業との繋がりや連携の支援といったサービスである。また、現在、ダナン市は日本の4つの都市との間で交流協定や友好都市提携を結ぶと同時に、20を超える日本の都市と協力し、イベントや人材交流等を定期的に行っている。

## 2. ダナンへの外国投資の現況

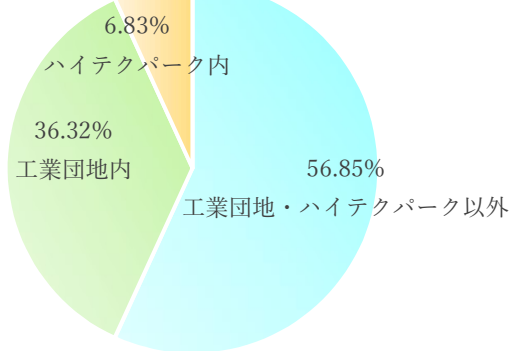
2019年時点におけるダナンへの総投資額は34億米ドル以上に達し、これまでに781案件の外資プロジェクトの誘致に成功している。そのうち、日本からの投資は国別で第1位の規模（全体の25.92%）である。

2019年にダナン市が誘致した外資プロジェクトの内訳をみると、総投資金額は6.9億米ドルであり、その中には132件の新規発行プロジェクト（投資金額4.4億米ドル、2018年比7.7倍増）、16件の増資プロジェクト（増資規模は2018年比で63倍）、210件の外国人投資家の出資・持分購入（1.35億ドル、2018年比3.2倍増）が含まれる。

事業分野別外資比率  
(2019年3月まで)



工業団地・ハイテクパークの  
外・内別外資比率



投資額の大きい分野は主に製造加工業、不動産・観光業である。代表的な外資プロジェクトには以下のようなものがある。

- 米国投資家 Silver Shores Investment Development Company Limited による総投資金額は 3.4 億米ドルとなっている。2006 年から不動産・観光分野で事業展開する同社は、ホテル・カジノ「クラウンプラザダナン」や、ショッピングセンター「VV モール」など、複数の大規模プロジェクトを実施してきた。そして、現在では同社自身がダナン観光開発誘致基金のゴールドスポンサーとなっている。
- ダナンに進出している主な日系企業では、株式会社埼玉村田製作所によって設立された工業製品の製造拠点である Viet Hoa Electronics Co., Ltd (約 1.19 億米ドル)、不動産・観光・サービス分野ではホテル三日月グループの子会社 ODK Mikazuki Vietnam Company Limited (約 1.1 億米ドル)、サービス分野においては岡山トヨペット株式会社が所有する Toyota Okayama Da Nang Company Limited (投資額約 3,350 万米ドル) などがある。

上記の業態に加え、ダナンでは投資優遇分野の外資誘致も強化しており、ハイテク産業、IT 分野、機械工学、その他のサービス（港湾サービス、商業、教育、医療、物流、金融）などが優遇対象となっている。

### 3. ダナン投資にみられる課題

日本のような透明性が高く安定した法制度を持つ先進国からの投資家にとっては、法令遵守や無用なトラブル回避のためにも、ベトナムの複雑な投資手続きを熟知しサポートできるコンサルタントが必要である。しかし、ダナンではそのようなサービスがまだあまり確立されておらず、現時点では行政機関の支援を得るケースが多い。

また、上述のとおり毎年4万人の新卒者を輩出しているとはいえ、ハノイやホーチミンと比較して人材が全体的に豊富であるとは言えず、管理職レベルの人材も不足している。加えて、工業団地内の開発資金は必ずしも潤沢ではなく、工業団地内のインフラ整備等が十分に進んでおらず、誘致が十分に進んでいるとは言い難い。また、工業団地・ハイテクパーク外への誘致については規制が厳しく、まだ門戸が開かれていないのが現状である。近接する他省の工業団地の中には、ダナン以上に優遇措置が充実している都市が存在していることや、その他の都市に比べて公共交通機関が未整備である点も、外資誘致において不利な点である。

### III. おわりに

地理的な優位性や先進的なインフラ、また治安が良く外国人にとって穏やかな生活環境が整っていることもあり、ダナンはこれまで特に不動産・サービス・観光分野において、活発な投資が行われてきた。投資を検討する上で、上記で述べたような課題点はあるものの、過去14年間のベトナム地方競争力指数(PCI:ベトナム商工会議所によって発表される指数であり、行政手続きの早さ、労働力の質など10の指標によって評価される)ランキングで7回も一位を獲得しているという事実は、ダナンが安定的に発展してきた証ともいえる。今後の継続的な経済成長や政策改善の推進により、ダナンはこれからもベトナムにおける事業展開を目指す外国投資家にとって魅力的な投資先候補地の一つであり続けるであろう。

### IV. 参考文献

1. 2020年までのダナン社会経済開発マスター企画の調整、2030年までのビジョンに関する2020年3月18日付政府首相決定第393/QD-TTG号；
2. 2020年社会経済開発企画に関するダナン計画投資省により2019年12月3日付発行の公式レター第3595/SKHDT-TH号；
3. ダナン新聞ウェブサイトにより2018年3月29日付投稿の「ダナン開発の可能性と利点の促進」；  
<https://baodanang.vn/channel/5399/201803/phat-huy-tiem-nang-loi-the-phat-trien-da-nang-2593844/>
4. 統計出版社により2019年7月刊行の「人口と住宅の調査」；  
[http://tongdieutradanso.vn/uploads/data/6/files/files/Bao%20cao%20so%20bo%20TD%20Dan%20so%20va%20nha%20o%202019\\_final\\_tiang%20Viet%20\(2\).pdf](http://tongdieutradanso.vn/uploads/data/6/files/files/Bao%20cao%20so%20bo%20TD%20Dan%20so%20va%20nha%20o%202019_final_tiang%20Viet%20(2).pdf)
5. ダナン投資促進支援委員会ウェブサイト；  
<http://jp.investdanang.gov.vn/index.html>
6. ハノイ人民委員会言論機関のウェブサイトにより2020年1月7日付投稿の「IT工業団地の設立」；  
<http://kinhtedothi.vn/thanh-lap-khu-cong-nghe-thong-tin-tap-trung-da-nang-361948.html>

**【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】**

<<日本国内デスク（株式会社 I-GLOCAL 内）>>

【所在地】：東京都中央区銀座 1 丁目 18 番 2 号 辰ビル 7F

【担当者】：鎌塚 麻由子（かまづか まゆこ）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ホーチミン事務所内）>>

【所在地】：14<sup>th</sup> Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1, Ho Chi Minh City

【担当者】：鈴木 友紀（すずき ゆき）

<<ベトナム/ハノイ現地デスク（I-GLOCAL ハノイ事務所内）>>

【所在地】：Room 1206, 12<sup>th</sup> Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower, 241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District, Ha Noi

【担当者】：牛尾 俊介（うしお しゅんすけ）

<<カンボジア現地デスク（I-GLOCAL カンボジア事務所内）>>

【所在地】：13<sup>th</sup> Floor, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blve (St.93/232), Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia

【担当者】：Mak Brathna(マク・ブラタナ)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室（086-226-7365）までご相談ください。